

⚠ 注意

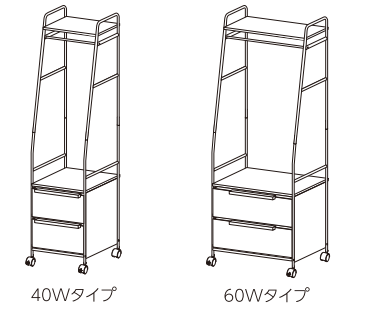
- 組立てる前に、部品が揃っているか確認してください。
- 組立てる時に、部品などを幼児や子供の手の届く場所に放置しないでください。
- 組立てる時に、部品の端部などだけがをしたり、指をはさまないように充分注意してください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 組立ては、水平で平らな場所で行ってください。また、床面がキズつかないようにダンボールなどを敷いて行ってください。
- 設置する場所の近くで組立てることをおすすめします。
- 本製品は、2人以上で組立てることをおすすめします。

- 本製品は屋内専用です。屋外での使用はお止めください。また本来の用途以外での使用はお止めください。
- 各部がしっかりと組立てられていることを確認した上で使用してください。組立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所での使用はお止めください。
- ストーブなど熱機器や火気のそばでの使用はお止めください。生地などに引火して火災の原因になります。
- 高温多湿の場所での使用はお止めください。また、直射日光など紫外線があたる場所での使用はお止めください。
- フローリングなどキズが付きやすい床面で使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- じゅうたんや畳などやわらかい床では荷重で沈んだり、へこみや跡がつくことがあるため、敷物や当て板を敷いてください。
- クッションフロア材（塩化ビニル樹脂）の上に本製品を設置して、長時間置いたり、紫外線や高温にさらすと、色移りで表面が変色する場合があります。
- 壁などとの接触を避け、少し離して（約10cm程度）使用してください。密着していると色移りして変色したり壁材が浮いてはがれたりする場合があります。
- ものをのせる時は、荷重が一点に集中しないように均等にのせてください。また、耐荷重を超えるものをのせないでください。
- 棚板に加熱したなべ・湯沸かし・熱湯の入ったコップなど熱いものを直接置かないでください。
- 本体にのぼったり・よりかかったり・座ったり・踏み台として使用することはお止めください。また、本体に手をついたり、つかまって立ち上がったりしないでください。特に幼児や子供には注意してください。
- ハンガーポールに偏ってものをかけないでください。
- ハンガーポールにかけてあるものを引っ張らないでください。転倒・破損の原因になります。
- 本製品のキャスターは屋内での短距離移動用のものです。頻繁な移動や長距離の移動はお止めください。
- 本体を移動する時は、キャスターのロックを解除し、ロックしたまま引きずらないでください。
- 本製品の特性上、使い始めににおいがする場合があります。時間の経過とともに軽減しますが、気になる場合は部屋の換気をしたり、風通しの良いところに置いてください。
- 使用中に、破損・変形・異音などの異常が生じた場合はただちに使用をお止めください。

- 付属のボックス以外は入れないでください。
- ボックスは、必ず付属の底板を敷いてください。ものを入れる時は、一点に集中しないように均等に入れてください。
- ボックスに、熱いもの・濡れているもの・ハサミなど鋭利なもの・耐荷重を超えるものは入れないでください。
- ボックスは洗えません。
- 他の布地が強く擦れたり、濡れたまま長時間接していると色移りする恐れがありますので注意してください。
- ボックスをフレームに入れる時は、ゆっくりと入れてください。
- 取っ手を強く引っ張らないでください。
- ボックスの出し入れを繰り返す行くと、色移りや変色する可能性があります。
- ボックスどうしを直に積み重ねないでください。

- 汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、やわらかい布に薄めた中性洗剤を含ませ、固くしぼってから汚れを落としてください。その後、乾いたやわらかい布で拭いて水分を取り除いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などの使用はお止めください。はがれ・シミ・変色などの原因になります。また、化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含むものを使用する時は、その注意書きに従ってください。

本製品は、ねじを用いて連結しているため、ご使用を続けていく中でゆるみが発生する場合があります。ゆるみが発生している状態で使用を続けると、連結部が折れたりはずれの原因になります。安全にご使用いただくために定期的な締め直しをお願いします。



この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。
尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

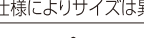
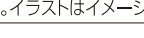
品 番	組立てサイズ(cm)			ボックスのサイズ(cm)			耐荷重(kg) ^{*1}			
	幅	奥 行	高 さ	幅	奥 行	高 さ	ハンガーポール	棚 板	ボックス	全 体 ^{*2}
HHR-40	(約)40	(約)40	(約)185	(約)34	(約)38	(約)20	20	5	3	36
HHR-60	(約)60			(約)54						

※1 ※耐荷重は、均等荷重をかけた場合の測定値であり、保証する値ではありません。
 ※2 のせるものの合計荷重が、表記の全体耐荷重を超えないようにしてください。また、全体耐荷重に本体重量は含みません。

內容明細

内容物を下記の明細に照らし合わせて、組立てる前にご確認ください。

部品名	サイドフレーム(上)	サイドフレーム(下)	棚板(小)	棚板(大)	ハンガーポール	連結ポール
部品図		左  右				
数 量	2	左右各1	1	1	1	2

部品名	サイドカバー	クロスバー	ストッパー付きキャスター	キャスター	ボックス	底板
部品図		 閉じた状態			※仕様によりサイズは異なります。イラストはイメージです。  	
数 量	2	1	2	2	2	2

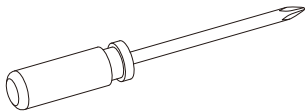
部品名	取っ手	固定部品	ねじ(A)	ねじ(B)	ねじ(C)	ねじ(D)
部品図			 (サイドフレーム用)	 (ハンガーポール・連結ポール用)	 (棚板(小)用)	 (棚板(大)用)
数 量	2	2+(予備1)	8+(予備1)	6+(予備1)	4+(予備1)	4+(予備1)

部品名	ねじ(E)	ねじ(F)	六角レンチ	スパナ
部品図	 (クロスバー用)	 (取っ手用)		
数 量	4+(予備1)	4+(予備1)	1	1

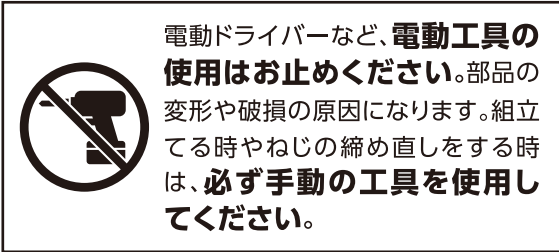
付属の工具は組立て後も点検のため使用します。
大切に保管してください。

必要な工具

④ドライバーを用意してください。



④ドライバーを用意してください。



組立てのポイント

最初に**全てのねじを仮締め**した後、**最後に全てのねじをしっかりと締める**

※ねじを最初からきつく締めると、他のねじの位置が合わなくなり、組立てができなくなります。また、全体がゆがむ原因にもなるので注意してください。

※ねじを最初からきつく締めると、他のねじの位置が合わなくなり、組立てができなくなります。また、全体がゆがむ原因にもなるので注意してください。



- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに弊社お客様相談室へご連絡ください。
- 本製品及び梱包材を廃棄する時は、お住まいの自治体の取決めた処理方法に従ってください。
- 天災などの不可抗力やお客様ご自身での修理・改造による故障・破損に対する補償などは致しかねます。

--

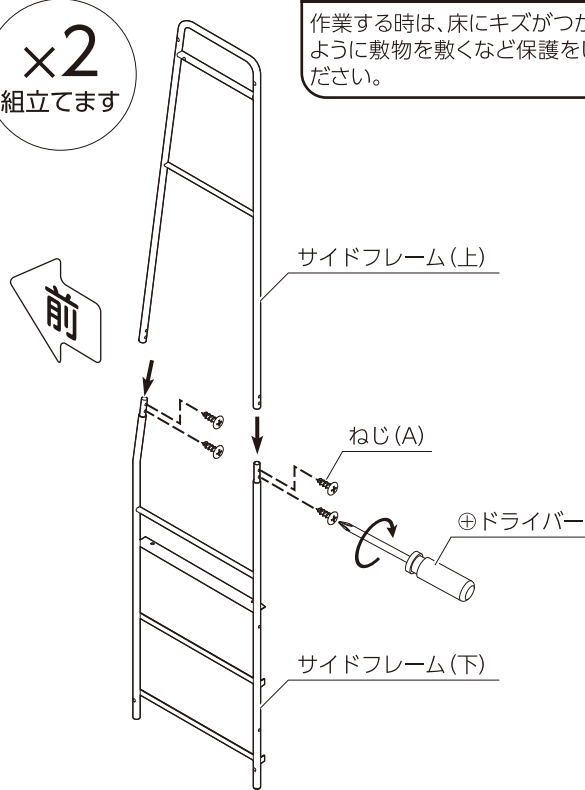
1 サイドフレームの取付け

サイドフレーム(上)をサイドフレーム(下)に差し込み、ねじ(A)で仮締めします。

△ 注意

作業する時は、床にキズがつかないように敷物を敷くなど保護をしてください。

×2
組立てます

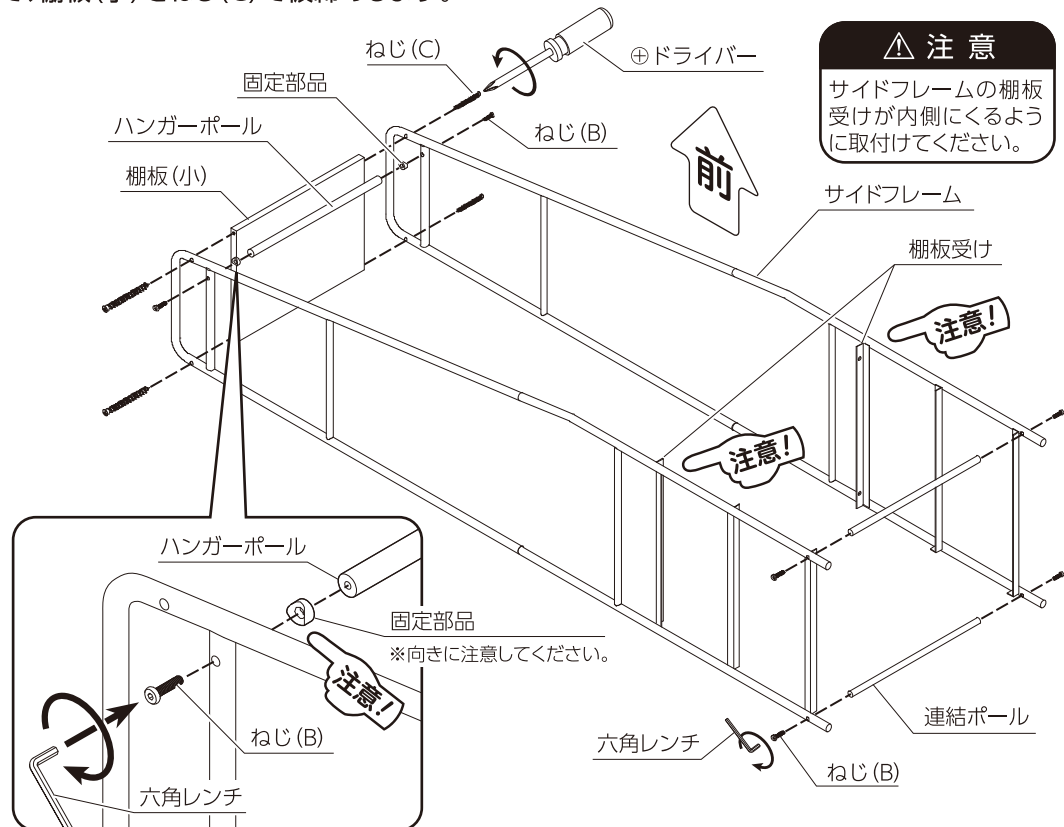


2 ハンガーポール・連結ポール・棚板(小)の取付け

1で組立てたサイドフレームに、ハンガーポールをねじ(B)と固定部品で、連結ポールをねじ(B)で、棚板(小)をねじ(C)で仮締めします。

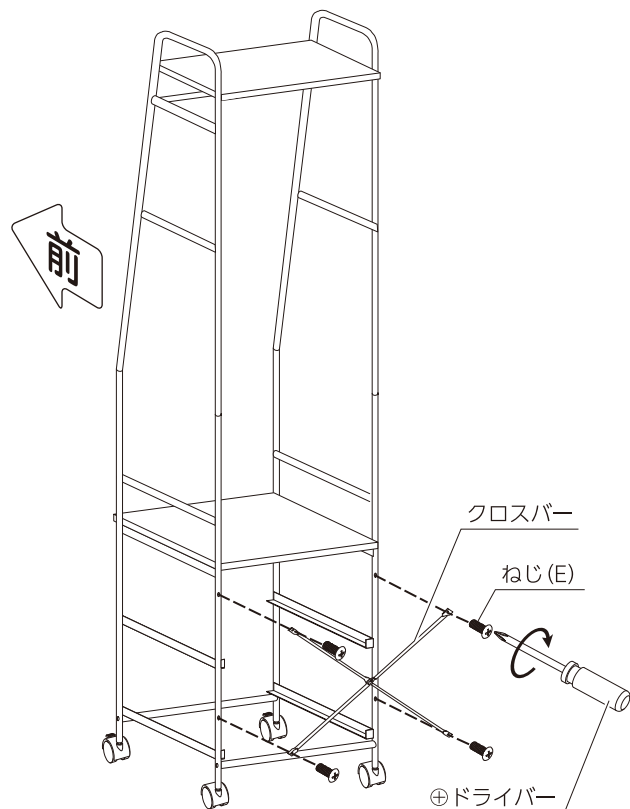
△ 注意

サイドフレームの棚板受けが内側にくるように取付けてください。



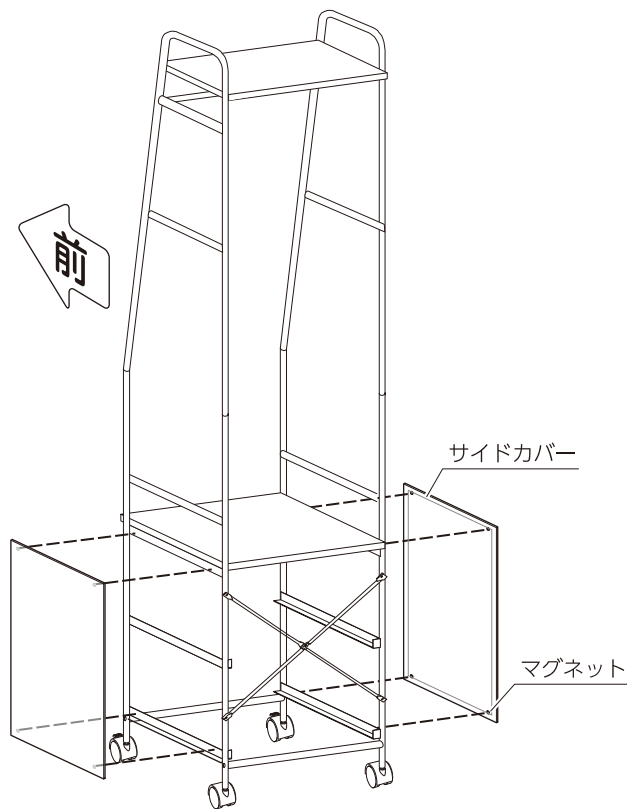
4 クロスバーの取付け

クロスバーを広げ、本体フレームにねじ(E)で仮締めします。最後に仮締めした全てのねじを本締めします。



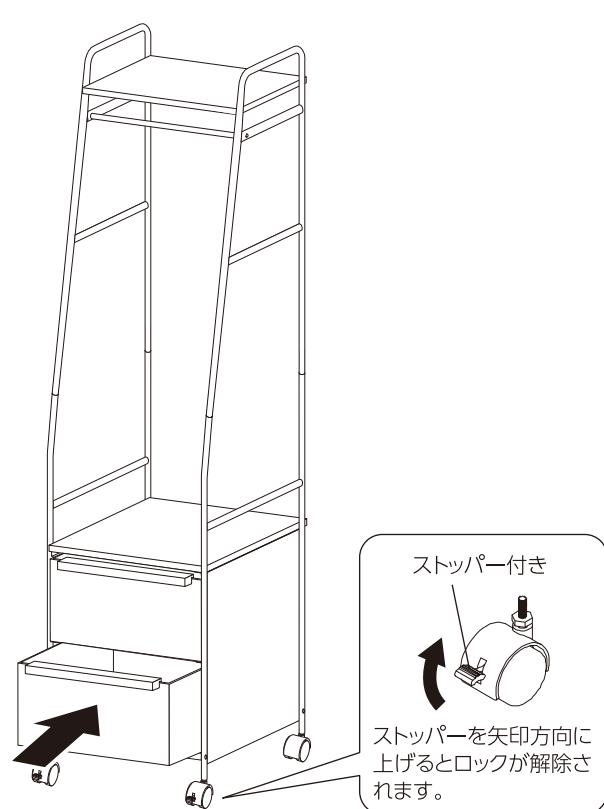
5 サイドカバーの取付け

サイドカバーを本体フレームに取付けます。



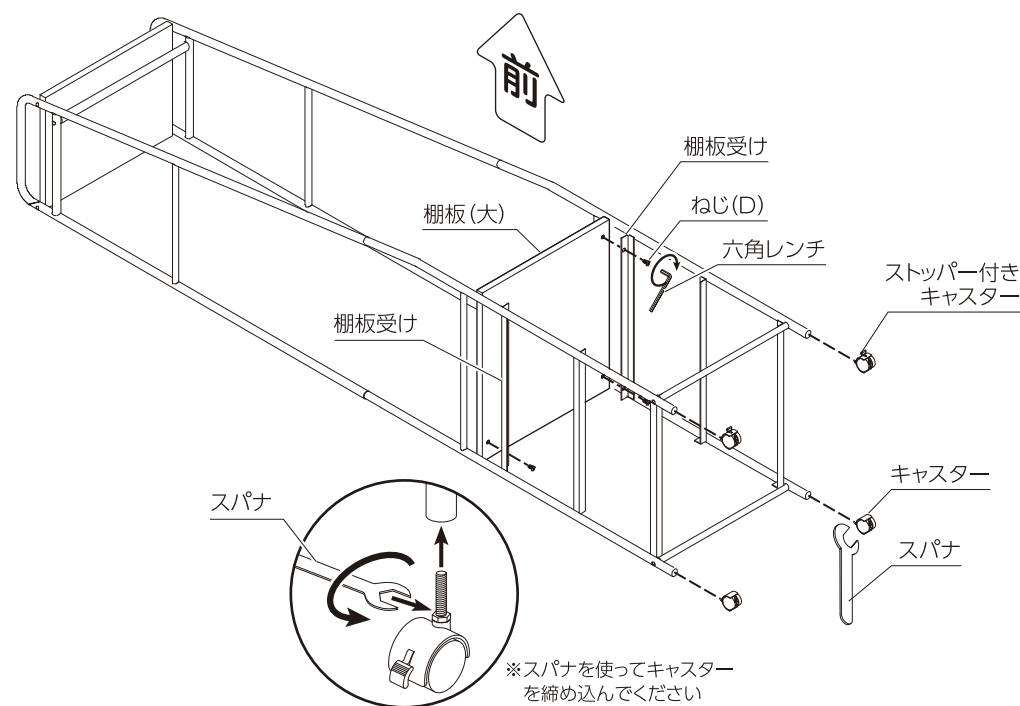
6 完成

本体フレームにボックスを入れて完成です。



3 棚板(大)とキャスターの取付け

棚板(大)をサイドフレームの棚板受けにねじ(D)で仮締めします。サイドフレーム下にストッパー付きキャスターとキャスターを取付けます。ストッパー付きキャスターが前側にくるように取付けます。



ボックスの組立て

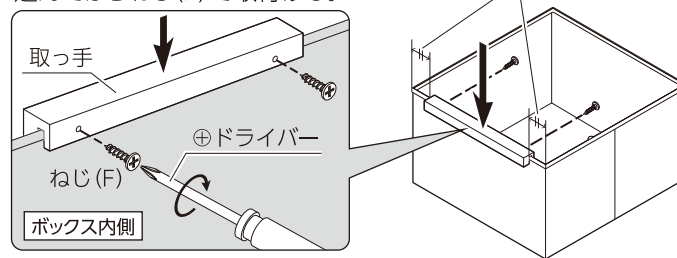
1 ボックスを広げて、底板を入れる。

底板に付いてるひもは、取り出しやすいよう上に出してください。

他と生地が異なる面が前面です。

2 取手をボックスの端から左右均等の位置に合わせ、奥までしっかり差し込んでからねじ(F)で取付ける。

同じ距離になるように



△ 注意

- ねじを取付ける時は、まっすぐ入れてください。
- ねじを締め付ける時は、締めすぎに注意してください。
- ねじに衣類などを引っかけないように注意してください。
- ねじにゆるみがないか確認してください。